

伊那市空家等対策協議会 議事概要			
開催年月日	令和6年 9月30日(月)	回数	第10回(令和6年度第1回)
開催時刻	午前10時～午前10時40分		
場所	伊那市役所2階 第2委員会室		
出席者	【伊那市空家等対策協議会委員】 委員 市長(代理:建設部長)、三澤 毅、駒津一治(代理:警備課長) 中山 昭、北原幹人、中山幾雄、太田明良、大村裕一 飯島裕一郎、大瀬木恵一、矢澤秀樹 事務局 管理課		
欠席者	中村和史		
議 事 概 要	1 開会 2 あいさつ 会長 3 協議・報告事項 (1) 特定空家等の方向性について説明:事務局 【質疑等】 (委員)隣接者は、空き家に対して倒壊等の不安を抱いていないのか。 (事務局)隣接者からは、トタンの剥がれ等で、飛散を心配する問合せが多く寄せられているが、現状、飛散の恐れは少なくなったと感じている。 (委員)現場を確認してきたが、飛散防止はなされている。但し、外的要因(台風や大雪等)に対して不安は残るので、定期的(2か月1回等)に確認を行った方がよい。 (委員)固定資産税の特例措置は適用されているのか。 (事務局)適用されている。現在は助言・指導中だが、勧告に移行すれば特例措置は外れる。 (2) 特定空家等3件の対応状況について説明:事務局 (3) 管理不全空家等の流れについて説明:事務局 【質疑等】 (委員)空き家の判定には従来、現地調査票等を用いてきたと思うが、管理不全空家の判定に新たな判定票を使うことの整合性、また、管理不全空家の認定調査が加わることで、事務局の負担が増える懸念は無いのか。 (事務局)管理不全空家の判定は、長野建設事務所建築課から示された調査票を用いて判定している。候補物件は、レベル5に該当する空き家41件のうち		

	特定空家候補の中で指定を検討している。第２期の計画期間中に空き家の現地調査を再度行う必要がある。事務の負担が増えないように、調査方法と調査票について、今後検討していきたい。 (４) その他 空き家啓発冊子の説明：事務局 ４ その他 ５ 閉 会
--	--